

# DX アクティビティ サーキュレーション — 継続的にDXを実現する仕掛けづくり —

競争優位を確立するためのサステナブルな仕組みをインストールする

デジタルトランスフォーメーション (DX) が喧伝されて久しい中、企業での取り組みは進んでいるでしょうか。データを集めて取り組んだものの従来の改善と変わらない、単発の活動に終わり広がらない、継続しないと叫ぶ声があります。個々の部門・製品・特定事業の範囲でDXを捉えてしまうと、デジタル技術を活用したシナリオの有用性が十分に発揮されません。デジタル時代に競争優位を確立するためには、従来の枠を超え、産業全体／社会全体を俯瞰しながら未来を構想し、企業・組織・人と事業やサービスの変革を繰り返して新たなビジネスを創出していくことが重要です。

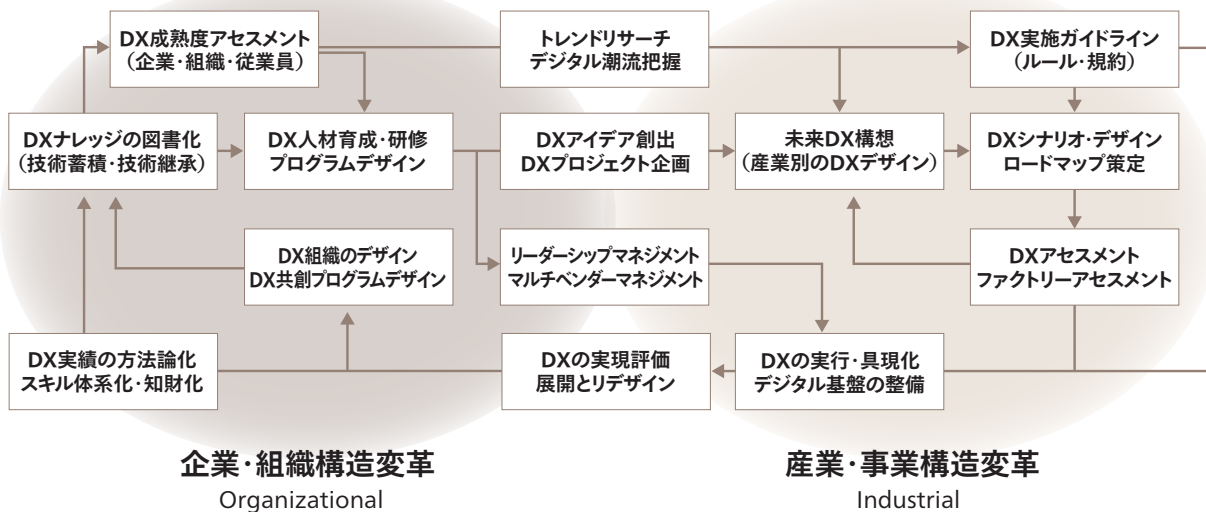
## DX Activity Circulation

「DX Activity Circulation」は、未来をデザインし、企業が持続的に成長していくためのアクティビティを循環させ、デジタル活用による価値の連鎖を起こす仕掛けです。

DXのアクティビティの繋がりが見えることで、次に何を実現すべきか明確化され、具体的な一歩が踏み出せます。また、実現したものを知財化し、常にアップデートしながら未来に残すべきもの・創造するものを明文化することで、継続的・連続的な取り組みにし、競争優位を確立していきます。

「企業・組織構造変革」と「産業・事業構造変革」の2つの領域を横断するサイクルを回す

## DX Activity Circulation



- 未来の姿との距離を知り、未来をマネジメントしていく
- 残すべきスキルは内製化し、社内人材育成で守る  
それ以外は外部活用で発展させる
- 継続的にナレッジを形式化化する仕組みを作る

- DX実現の枠組みを作り、変革を繰り返す仕掛けにする
- DX実行を通じて、未来に残すべき新たな価値を創造する
- クライアントのニーズや世の中のシーズを捉えたDXの実現

## Why ABeam?

アビームコンサルティングは、産業ごとに異なる未来があることを前提に、循環型の活動の仕組みが企業に根付くまでのノウハウを取り揃え心強い伴走者として企業のDXを共に創り上げていきます。

**経営と現場の視点**

トップダウンとボトムアップを組み合わせ、経営と現場の双方から様々な人や組織にとっての多角的なメリットを生み出す

**データ活用×複数業界の引き出し**

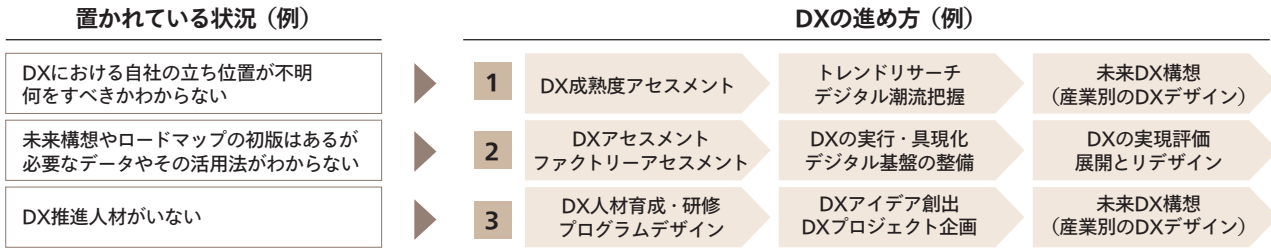
各インダストリーでのデジタルデータを活用した豊富な支援実績と各業界出身者による豊富な知見

**DXプロジェクトマネジメント**

答えが1つではないDXプロジェクトを数々のクライアントと共に推進してきた実績

# DX Activity Circulationのインストールによる変革のはじまり

自社の現状に適したスタート地点から活動を始めサイクルを回していきます。肝要なのは、継続的、循環的な取り組みにすることです。経営と現場の乖離をなくし、組織の壁を越え、事業やサービスの現場を巻き込み手触り感のある経験と共感を作っていきます。また、自社だけで賄うのが難しいDX実現に必要な多面的なスキルを補い組み合わせ、自律自走できる仕掛けを作っていきます。



## 必要なスキルと構想力、統合力、実行力を組合せて推進



## DX Activities(提供サービス)

企業のニーズに合わせて、DX アクティビティを実現する様々なサービスラインナップを提供可能です。

<p><b>DX成熟度アセスメント</b></p> <p>DX成熟度を5分類33項目で評価、業界内のポジションや事業毎の差異を明確化</p> <p><b>提供価値</b> 客観的事実に基づいた投資領域の選定/Next Action</p>	<p><b>トレンドリサーチ デジタル潮流把握</b></p> <p>業界動向・デジタル潮流・競合他社情報などに示唆を加え、競争環境の変化を予測</p> <p><b>提供価値</b> 従来には無い新たな発想、ベンチマーキング</p>	<p><b>DXアイデア創出 DXプロジェクト企画</b></p> <p>部門横断でDXアイデア創出の場の企画・運営、DXアイデアのプロジェクティブ化を支援</p> <p><b>提供価値</b> 合意形成されたDXアイデア、部門横断プロジェクト組成</p>	<p><b>未来DX構想 (産業別のDXデザイン)</b></p> <p>デジタル潮流・業界状況等を踏まえ、未来に何を創り・残すかを検討し、未来像を策定</p> <p><b>提供価値</b> 非連続な未来像/DXの先にあるあり姿</p>
<p><b>DXシナリオ・デザイン ロードマップ策定</b></p> <p>未来像起点で“やるべきこと”を描き、出口があるシナリオ・ロードマップを策定</p> <p><b>提供価値</b> 周囲を巻き込み推進できるストーリー</p>	<p><b>DXアセスメント ファクトリーアセスメント</b></p> <p>今まで効果が出ていない施策の真因を経営現場を巻き込んだ議論で特定</p> <p><b>提供価値</b> 確実にDXを進められる第1歩</p>	<p><b>DX人材育成・研修 プログラムデザイン</b></p> <p>将来必要となる人材の育成プログラムを設計・実施し、スキルを向上</p> <p><b>提供価値</b> DX人材の内製化、個人キャリアに沿ってトレーニングできる研修スキーム</p>	<p><b>DX組織のデザイン DX共創プログラムデザイン</b></p> <p>DX実現に必要な組織及び権限獲得に向けた、経営トップへのアプローチの支援と、外部のソリューション構築</p> <p><b>提供価値</b> 組織的なDX推進力、エコシステムでのビジネスデザイン/スキーム</p>
<p><b>リーダーシップマネジメント マルチベンダーマネジメント</b></p> <p>DX推進を担う次世代リーダーの育成・管理と、エコシステムの形成と活用</p> <p><b>提供価値</b> DX実現を任せられる次世代リーダーの育成</p>	<p><b>DXの実行・具現化 デジタル基盤の整備</b></p> <p>PoC/ループに陥らないKPIを設定し、小さく始めて大きく育てられるデジタル基盤を整備</p> <p><b>提供価値</b> DXの進化とビジネスの変革を実現し続けるデジタル基盤</p>	<p><b>DXの実現評価 展開とリデザイン</b></p> <p>DXの効果を定量/定性評価し、横展開しやすいうように成功/失敗要因を抽象化</p> <p><b>提供価値</b> 落とし穴の回避と全社展開のスピードアップ</p>	<p><b>DX実施ガイドライン (ルール・規約)</b></p> <p>DXを実現するためのプロジェクト運営・システム管理基準や、DX施策評価指標を策定</p> <p><b>提供価値</b> ガバナンス強化による安全性とスピードの両立</p>
<p><b>DX実績の方法論化 スキル体系化・知財化</b></p> <p>自社のDXプロジェクトの成功/失敗の経験と弊社ナレッジを基に、独自のDX成功メソッドを確立</p> <p><b>提供価値</b> 形式知化された各種DX実績</p>	<p><b>DXナレッジの図書化 (技術蓄積・技術継承)</b></p> <p>様々な知見を、貯めやすく取り出しやすい形式で蓄積できるシステムの構築</p> <p><b>提供価値</b> 自律的に知見を共有・活用するサイクルの確立</p>	<p><b>Contact</b> Digital Technology Business Unit Digital X Innovation Sector JPABDGLTech@abeam.com</p>	